

# 南富良野町水害タイムライン第3回検討会

「南富良野町水害タイムライン第3回検討会」を開催しました。これまでの2回の検討会で、南富良野町の意思決定タイミング、防災行動の抽出と役割の明確化などを検討してタイムライン案を作成しており、第3回検討会ではこのタイムライン案を全参加者で確認し、役割分担や他部署・機関と連携すべき項目についての最終的な調整を行いました。この結果を反映し、年度内に南富良野町水害タイムライン試行版を策定する予定です。

【実施日時】平成31年2月27日(水) 13:30~17:00

【実施場所】南富良野町役場 大会議室

【参加機関】南富良野町、防災関係機関 6 機関 5 1 名

## 開会の様子

開会にあたり、札幌開発建設部 河川整備保全課の岩崎課長より開会挨拶がありました。「平成28年の大水害を経て、平成29年度は災害を振り返るワークショップ、今年度は2回の検討会で意思決定タイミングや防災行動、連携事項の整理を行い、今回の第3回で読合せをして試行版の策定というところまで来た。気象庁の長期予報では、本年6~8月の降水量は平年並みか若干多いとのことなので、このタイムライン試行版を実効性の高いタイムラインとして活用出来るよう引き続き検討をお願いしたい。」と述べられました。



岩崎河川整備保全課長

## 全体協議

事務局より進め方について説明があり、全体協議はファシリテーターの進行のもと、タイムライン案に基づいて防災行動項目を読み合わせて行きました。全機関で行動内容を共有し、役割分担の確認を行うとともに、特に他の機関と連携が必要な項目について、情報の流れや連携方法の確認・協議を行いました。その場で結論が出せない課題もありましたが、各部署・機関の防災対応の内容や時期が共有され、町全体で、関係機関の協力を得ながら円滑かつ効果的な水害対応を行うための基本的な方向性が確認されました。



## 全体講評

全体協議後、アドバイザーの環境防災研究機構北海道の黒木代表理事から全体講評を頂きました。「本日の議論で皆さんの熱意が伝わってきた。住民との関わりについて、避難や水防活動への参加もさらに検討していく必要がある。また、災害は広域で同時に起こる場合もあるので、必要な防災資機材が災害時に不足とならないような整備・点検・準備を普段から実施するとともに、関係機関との協力体制を強化し、継続的に実効性のあるタイムラインに改善して欲しい。このタイムライン検討を契機に、台風災害に限らず、町全体の防災対応を一層良いものにしていくって頂きたい。」とお話しがありました。



黒木幹男アドバイザー

## 閉会挨拶



池部 彰 南富良野町長

最後に南富良野町の池部町長より閉会挨拶がありました。「今回の検討会で試行版の完成となる。それぞれの機関・部署がそれぞれの立場で意見を出し合い、防災行動をまとめ、水害タイムラインを作り上げた。今後も様々なシミュレーションを重ねて、更に良いものにしていかなければならない。大きな災害を経験した南富良野町としてこれから起こり得るであろう災害地域の先進的な役割を果たしていくと思っている。関係機関の皆様方の協力も頂きながら、このタイムラインを水害のみならず様々な方向に応用して行きたい。」とお話しされました。